

【格付維持】 早稲田大学

発行体格付： AA+ [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

在籍者が5万人を超える日本有数の総合大学で、「私学の雄」として国内での知名度はきわめて高い。1882年に大隈重信が創立した「東京専門学校」を前身とし、「学問の独立、学問の活用、模範国民の造就」を建学の理念として発展してきた。2008年度に新しい中長期計画「Waseda Next 125」を策定した。「早稲田」から「Waseda」への飛躍を図り「グローバルユニバーシティ」としての地位を確立することを今後10年間の課題と位置付けている。

1999年度以降、一般入試・センター試験利用入試の総志願者数は全国で第1位を維持しているなど学生募集力は全国の私立大学でトップクラスにある。2008年度には全学基盤教育として語学、文章表現、数学のプログラムを整備し、学生の基礎能力向上を目指している。2009年度には研究者間の交流を活性化させるために新しい組織体制を発足させた。2009年度までのグローバルCOEプログラムの採択件数は8件で、私立大学として最も多い。

以前に比べると帰属収支差額は低い水準にとどまっており、中長期的にもこの傾向が続くと考えられる。ただ「Waseda Next 125」では事業の進行において予算執行の有効性を検証する仕組みを盛り込み、原則として資金の手当てが可能な範囲内で実施する。このため、収支の悪化には一定の歯止めがかかると思われる。

当該格付に適用した主要な格付方法は「R&Iの信用格付の基本的な考え方」及び「学校法人の格付の視点」である。これらの格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに下記ウェブサイトに掲載している。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/rating/rating/methodology.html>

【格付対象】

発行体：早稲田大学

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA+ (維持)	安定的

☆発行体格付は、発行体が負うすべての金融債務についての総合的な債務履行能力に対するR&Iの意見である。発行体格付は、原則としてすべての発行体に付与する。個々の債務等の格付は、契約の内容や回収の可能性などを反映し、発行体格付を下回る、または上回ることがある。